

リハビリ通信



「レッグプレス」というリハビリ機器を活用して足腰の筋力トレーニングを行っています。運動を導入する際、普段見慣れない機器を前にすると「なんか大変そう…」と思われる方もいらっしゃると思います。「運動負荷」は個人で筋力が違うため異なります。スタッフが身体機能評価をして個々の筋力を把握する事で、その方に応じた負荷を調整いたします。適切な負荷で運動を行えば効果も期待できます。そして、それを継続できるようにスタッフ全員で支援させていただきます。

■ 介護報酬改定のお知らせ

平成 27 年 4 月 1 日に介護報酬が改定された為、施設のご利用料も一部変更となりました。何卒ご理解賜ります様お願い申し上げます。

■ ホームページが変わりました

此の度 4 月 1 日から当法人ならびにいづみケアセンターのホームページをリニューアル致しました。

URL:<http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

■ 4月の趣味の教室

- ★ 書道教室【大倉 佳子先生】
4月 6日 (月)
4月 20日 (月)
2階 13時30分～
- ★ 折紙教室【田中 三枝子先生】
4月 1日 (水)
2階 13時30分～
- ★ 詩吟教室【佐藤 譲先生】
4月 15日 (水)
2階 13時30分～
- ★ 編物教室【梶谷 和子先生】
4月 14日 (火)
2階 13時30分～

■ 定例催し物

- ★ 音楽会【宮岡 久美子様】
4月 17日 (金) 10時40分～ 2階
- ★ 朗読【権田 喜代様】【関根 洋子様】
【高橋 政子様】【あすなろ様】
【小川 かつ江様】
4月 2日 (木) 15時30分～ 2階
4月 10日 (金) 15時30分～ 2階
4月 14日 (火) 15時30分～ 2階
4月 22日 (水) 15時30分～ 3階
4月 28日 (火) 15時30分～ 3階

編集後記

春の陽気は自然と気持ちが穏やかになります。皆様お花見に行かれましたか？

編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



初心を大切に・・・



生活ケア部 通所課長
横田 ひとみ

桜の蕾もほころび、暖かな春の日差しが嬉しい季節となって参りました。先日、伊豆の実家の母から一本の電話がありました。「みんな元気になっている?」、「仕事はどう?」。いつもの決まり文句なのですが、私がいくつになっても母が娘を思う気持ちは変わりません。いつも心の中で感謝しています。

母は父の自慢話をしたかった様です。漁師だった父は、現役当時の漁業や村の暮らしについて若い世代に語り継ぐ役割を担っているというのです。一昔前のワープロでの原稿作り……。キーボードに向かって父の顔が浮かんできました。「人の為に役に立つことを惜しんではいけない」「自分の進みたい道は努力して手に入れなさい」といつも口にしていたことを思い出しました。両親が元気に第二の人生を謳歌していることは、離れて暮らす娘には無上の喜びです。親元離れて三十数年、親から受け継いだことを大切に、今の私があると思います。

本紙の発行日である4月1日は私にとって大変意味深い日です。14年前のこの日に入職しました。当時の事が昨日の事の様に思い出されます。私は4月1日を“初心を顧みる日”と決めています。これまでご指導を賜った沢山の方々に深く感謝申し上げます。利用者様、家族様から頂戴したお言葉も宝物になっています。困った時に声をかけて励まして下さったのも利用者様でした。利用者様と職員という関係を超え、一人の人間として温かい言葉をかけて下さったのだと思います。介護という仕事を超越して、「心」を通わせることの大切さが身に沁みだした瞬間でした。

昨今、介護現場にロボットを導入する研究・開発が進んでいます。介護をロボットに委ねる合理的な理由があるのかも知れませんが、しかし私は「介護とは人が人として人に接する援助行為」だと考えています。人にしか出来ない、いづみケアセンターにしか出来ないおもてなしに更に磨きをかけ、利用者様お一人おひとりに寄り添って参りたいと思います。また、私がこれまで学び得たことを次の世代に引き継ぐことも重要な使命と考えています。微力ではありますが、初心を忘れることなく、全力投球で職務を全うさせて頂く所存です。すべては利用者様のために・・・

施設の行事

節分



節分の日には毎年恒例の豆まきを行いました。利用者様全員、鬼を退治しようと一所懸命に豆を投げ、厄払いを行いました。

美容レク



3階2番館では美容レクを行いました。メイクはもちろんのこと、ハンドマッサージやスキンケア、フットマッサージまで、体全体をケアさせていただきました。皆様、綺麗になった！若返ったみたい！との声も聞かれ、とても喜ばれました。

「まほろば会」 の皆様による演奏会



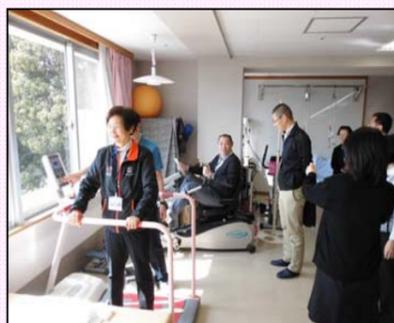
箏と篠笛・笙による日本の伝統音楽を演奏して下さったのは「まほろば会」の皆様。姿勢と、どこか厳かで心洗われる響きに、皆様うっとりされていました。アンコールの最後の一曲は、新春にふさわしい「春の海」。気持ち良い今年一年のスタートとなりました。

「リコーダーアンサンブルピッフェロ」 の皆様による演奏会



リコーダーはよく小・中学校で使われる楽器ですが、四重奏で奏でられるとまるでクラシックコンサートの様な迫力を受けました。利用者の皆様にもなじみ深い、童謡やTV主題歌なども多く、会場には手拍子や歌声が響き渡っていました。

ケアマネモニター会



地域の居宅介護支援事業所でご活躍されているケアマネージャー様を施設にお招きし、中の様子をご覧頂きました。昼食の試食、リハビリの体験、通所の文化祭の作品をご覧いただく等、充実した時間を過ごして頂きました。

通所課の取り組みをご紹介します

通所課では、余暇活動に力を入れています。その中でも『クラブ活動』は利用者様が毎回楽しみにして頂いている活動の一つです。このクラブ活動は、毎週木曜日は書道・絵手紙・カラオケ、土曜日は体操・脳トレ・俳句、更に曜日等は固定せず不定期で園芸を利用者様自身で興味のある活動を選択し、参加して頂いています。活動開始時には利用者様とどんなことをやってみようかと話し合い、利用者様のご意見を伺いながら約一年間この活動を行ってきました。現在では時間になると利用者様から自然と活動場所へ移動し、和やかな雰囲気の中で時間が経つのがあつという間という声が聴かれる程です。



また毎年恒例となりました通所の文化祭『お茶の子彩祭』を今年も3月16日(月)～3月20日(金)まで開催しました。昨年に引き続き、「女性が行うもの」「男性が行うもの」という概念を捨てて、女性が木工に挑戦されたり男性がマフラー編みやブローチに挑戦されたりと、皆様思い思いの素晴らしい作品が出来上がりました。始めこそ自分に出来るか？という不安を口にされる方が多くいらっしゃいましたが、完成した作品を目の前に、どの利用者様も達成感を感じさせる様な満面の笑みを見せて下さいました。来年もお楽しみに・・・



～埼玉県介護老人保健施設大会に参加～

去る平成27年2月5日(木)大宮ソニックシティにて「第20回埼玉県介護老人保健施設大会」が開催されました。大会において当施設の職員が下記の内容で活躍致しました。

■演題発表

生活ケア部長 「身体拘束0(ゼロ)を誓った私たちの挑戦」
石川ゆき子 ～五感でケアすることの意味～

■ポスター演題発表

生活ケア部入所課 「もう一度元気なあなたに会いたくて」
村田裕一 ～ターミナルケアからの奇跡の復活～

生活ケア部通所課 通所に於ける「個性を尊重した主体的
森田みずき アクティビティ」の試み(第2報)
～“感動”を心の核として～

■シンポジウム

「多職種協働で行うリハビリテーション」
座長：施設長 内田三千則
シンポジスト：生活ケア部長 石川ゆき子 他5名

■埼玉老健介護百人一首優秀歌十首

小谷あゆみ賞受賞！！

○施設長 内田三千則

「親思う子等の気持ちを汲み取りて
母は施設の気楽さ語る」

- ・医師 久保康人
「かみ合わぬ会話に疲れあきらめて
笑顔頼りの診察となる」
- ・生活ケア部入所課 鈴木明子
「癒そうと思う気持ちが癒されて
はじめて気づく百年の言葉」
- ・支援部相談課 丸本春代
「もう一度逢って御小言聞きたくて
毎日空を見上げています。」

新入職員紹介

①氏名 ②職種 ③趣味 ④ひと言メッセージ



- ① 木野富江
- ② 介護福祉士
- ③ 読書
- ④ 早く職場に慣れるよう、頑張ります



- ① 野口静香
- ② 看護師
- ③ フリーマーケット
- ④ 分からない事が多いと思いますが一生懸命頑張ります